

平成19年度食育支援ネットワーク事業実績報告

保健所名	回数	実施月日	実施場所	参加者		内容	評価方法と結果概要
水戸	1	平成19年9月15日	ジャスコ水戸内原店	一般住民	800人程度	食育推進キャンペーン メタボリックシンドロームの予防について ・ミニ講話コーナー (医師、歯科衛生士、栄養士による) ・茨城水産物料理教室と試食 ・食事診断、栄養相談 ・血圧測定、体脂肪測定、健康相談 ・歯の健康相談、 ・展示(学校給食レプリカ、郷土料理) ・子ども向け、もみすり体験 ・食事バランスガイドの普及	ジャスコ水戸内原店を協力店として年度当初から5回の打合せを重ね、6団体、2関係機関の自前の協力により、キャンペーンでは初のミニ講話を取り入れ、料理の実演、各種相談等充実した内容となり、と大規模なキャンペーンが開催できた。 参加者800名
	2	平成20年2月7日	県立健康プラザ	管内市町関係者	19名	健康づくり計画策定検討会議 1 説明「健康増進法改正による市町村健康増進計画策定時の留意点について」 2 事例紹介 ・健康常陸大宮21について 常陸大宮市健康推進課課長補佐河西秀美 ・那珂市食育推進計画策定について 那珂市健康推進課係長 柏正裕 3 意見交換 * アドバイザー保健予防課技師 駒橋玲子	常陸大宮市健康増進計画策定の経過、地域における住民の実践状況など詳細な情報提供や那珂市食育計画策定の準備状況時の課題などの説明、具体的な意見交換を実施し、管内市町健康づくり計画、食育計画策定の支援が図られた。
ひたちなか	1	平成19年6月～7月	各機関及びひたちなか保健所	各市村食育関係課 ひたちなか市:健康推進課 東海村:保健年金課, 社会福祉課, 経済課, 教育委員会指導室 JAひたちなか営農経済センター ひたちなか商工会議所 東海村商工会 ひたちなか食品衛生協会		食育推進計画策定支援会議 1 「茨城県食育推進計画」の概要についての周知 2 各市村における食育推進計画策定予定状況の把握 3 ひたちなか保健所管内食育推進キャンペーン協力依頼	1 食育合い言葉認知率(アンケートによる) 食育キャンペーン実施前 10.9% スーパーマーケット食育イベント参加者 47.8% 2 キャンペーン参加協力団体数 15団体 3 事業参加者人数 計 約186名
	2	平成19年7月26日, 10月6日～11月4日	会議:ひたちなか保健所 キャンペーン:ジャスコ東海店 ジャスコ勝田店, いばらきコープひたちなか店, 田彦公民館, 東海村総合福祉センター, ひたちなか保健所及びキャンペーン協力団体関連事業所等	1 検討会議 各市村食育関係課, JAひたちなか営農経済センター, ひたちなか商工会議所, 東海村商工会, ひたちなか食品衛生協会 11名 2 食育イベント参加者 ジャスコ東海店 約60名 ジャスコ勝田店 約40名 いばらきコープひたちなか店 約30名 3 食育関係機関とのタイアップ事業参加者 田彦公民館 36名 東海村総合福祉センター 約20名	会議11名 イベント参加者186名	1 ひたちなか保健所管内食育推進キャンペーン検討会議の実施 2 食育キャンペーンの実施 (1)スーパーマーケットの店舗を利用した食育イベントの実施 (2)食育関係機関で実施される事業とのタイアップによる食育の普及 (3)保健所所内及び保健所HPを利用した食育の普及 (4)食育キャンペーン協力団体での食育ポスターの掲示及び食育チラシの配付による普及啓発	

平成19年度食育支援ネットワーク事業実績報告

保健所名	回数	実施月日	実施場所	参加者		内容	評価方法と結果概要
常陸大宮	1	平成19年10月2日(火)	常陸大宮保健所大会議室	食育推進キャンペーン参加協力団体代表等	12名	食育推進連絡会議の開催 計画の周知及び連携による管内食育推進キャンペーンの検討 ＜内容＞(1)説明事項 関係機関・団体の連携による食育の推進について(各団体の役割認識と協働) (2)検討事項 常陸大宮保健所管内食育推進キャンペーンの実施について(内容・配置等詳細検討)	○アウトプット評価 ・不特定多数の一般住民への啓発 食育推進キャンペーン啓発者数 2,400名 ・営業者, 行政関係者, ボランティアへの啓発 食支援研修会参加者 104名, 飲食店組合勉強会 180名, 行政・学校関係者(母子・栄養各連絡会) 70名, 食生活改善推進員研修会 60名 ・食育協力団体数 11団体(86名)
	2	平成19年10月19日(金)・20日(土)	ジャスコ常陸大宮店 店内ホール 他	＜参加団体＞ 管内市町, ジャスコ常陸大宮店, 茨城県栄養士会, 食生活改善推進員協議会, 水産物開発普及協会, 食品衛生協会, 学校栄養士会, 大宮聖慈保育園	参加団体:11団体86名 参加対象:一般住民2,400名へ啓発	食育推進キャンペーンの実施 ＜テーマ＞「食育とメタボリックシンドローム予防」 ＜内容＞ 食生活診断, 食育ゲーム&クイズ, お魚ミニ料理教室, 食育媒体の展示・実演, メタボ予防(展示,BMI計算) 食育リーフレット配付 ポスター掲示(スローガン周知)	○アウトカム評価 ・「市町村食育推進計画」策定(予定)数 3市町 ・食育協力団体同士のネットワーク形成 3団体
	3	平成20年1月7日(月)	常陸大宮保健所大会議室	市町食育推進担当者	9名	食育推進ネットワーク連絡会の開催 ＜テーマ＞市町食育推進計画の策定について ＜内容＞ (1)茨城県食育推進計画策定の経過について (2)管内市町食育推進計画策定の状況について	スーパーと茨城県栄養士会(食育推進キャンペーンの協働実施による ※毎月19日に店内で栄養士会による栄養相談実施 スーパーと管内食改協議会(健康づくり食支援研修会協力実施による) ※管内料理コンクール優秀作品の広報をスーパーが実施
	4	平成20年2月27日(水)	那珂市総合センターらぼーる多目的ホール 他	飲食店・旅館・スーパーマーケット・商工会・市町, 支援店, 食改, その他一般	104名	健康づくり食支援研修会 ＜趣旨＞ 外食・中食関係者へ食育の理解を図る ＜内容＞ 講演「健康づくりのための食支援と外食・中食の役割」 茨城キリスト教大学准教授 井川聡子 (2)シンポジウム「健康づくりのための食支援の取組と今後の課題」 コーディネーター 井川准教授シンポジスト 4名支援店・アドバイザー・ボランティア・行政の立場から (3)ヘルシーアイデア料理の試食・展示	
日立	1	平成19年10月15日～22日(5日間)平成20年1月11日～21日(5日間)	茨城キリスト教大学学生食堂 及び生協	茨城キリスト教大学学生 延べ	2,000人(各回 1,000人)	青壮年期を対象とした食育キャンペーン 1 食育リーフレットの配布 ①茨城県作成 ②学生の食生活の実態に即したものを作成 2 アンケートの実施	食育キャンペーン 延べ2,000人の学生にリーフレットを活用したキャンペーンを行い, 特に2回目のキャンペーンでは学生の食生活の問題に即したリーフレットを作成配布することにより学生の関心も高く, 食育意識を浸透させることができた。

平成19年度食育支援ネットワーク事業実績報告

保健所名	回数	実施月日	実施場所	参加者		内容	評価方法と結果概要
	2	平成20年3月17日	日立保健所 会議室	管内各市食育担当者, 管内栄養士会, 学校関係職員, 幼稚園・保育園職員, 食生活改善推進員	15名	食育推進連絡会・「茨城県食育推進計画」のポイント(保健予防課職員)	事例発表(管内各市の食育の取組み状況)・意見交換 食育推進連絡会 今年度「市町村食育推進計画」策定できた市町村はなかったが, 策定に向けての進め方や問題点が, 各機関の事例発表や保健予防課職員による茨城県計画の策定状況及びそれを踏まえたアドバイスにより, より具体的になった。
	3	平成19年10月13日~21日(5日間)	イトーヨーカ堂(株)日立店	メッセージ提示者家族等及びイトーヨーカ堂来店者	-	店舗内での展示	「家族でいっしょにいただきます」メッセージの提示及び展示・食育ポスター及び茨城県食育計画(抜粋)の提示 日立市内各学校等から応募のあった1,002点の作品及び食育関連情報の報提示により, 家族連れなどの来場者が真剣に見入っている姿もあり食育をより身近に感じているようであったので, 食育普及啓発に効果的であったと思われる。
銚田	1	平成19年11月13日(火) 銚田, 潮来で協働開催	イオン(株)鹿嶋店	一般県民, 県栄養士会, 食生活改善推進協議会, 茨城農政事務所, イオン(株)鹿嶋店, 保健所職員	1,000人	食育推進キャンペーン	県栄養士会:ミニ講話, 栄養相談, 食生活診断, パネル展示 食生活改善推進協議会:紙芝居, 食育クイズ, レシピ配布, 試食(ピーマン炒り蒸しパン, ピーマンの葉のお茶)体脂肪計測定 茨城農政事務所:豆運びゲーム, 計量クイズ 保健所職員:食育に関するチラシ等の配布 評価方法はイベント参加者数であり, 延べ1000名の参加を得ることができた。(実施計画では500名を想定)特に, 茨城県独自の食育スローガン「おいしいな」の普及に力を入れた。(のぼり旗の設置, ミニ講話, チラシの配布)
	2	平成20年2月12日(火)	銚田保健所 母子診察室	管内食生活改善推進連絡協議会長, 管内市食育担当課長・食育担当者, 保健所職員	10人	[食育支援ネットワーク連絡会]	(1)「茨城県食育推進計画」について (2)「いばらき健康づくり支援店」について 評価方法は「市町村食育推進計画」策定予定数の増加であるが, 管内2市とも「策定の予定はなし」との回答であった。「市町村健康増進計画」についても策定予定が平成21年度以降であり, 併せて支援していく必要がある。
潮来	1	平成20年1月19日(土)	カシマスポーツセンター	鹿嶋市健康増進課職員, 体育指導員, ウォーキングボランティア, 鹿嶋市食生活改善推進員等	46名	ヘルスロードウォーキング大会開催での県民周知	「茨城県食育推進計画」について, 概要版を配布し県民への周知を図った。 評価:参加者数・結果:参加者251名及び大会関係職員を対象に実施
	2	平成20年3月17日(月)	潮来保健所	市食育担当職員, 市保育所給食及び学校給食食育担当者等	14名	市町村食育推進計画支援研修会	市町村での食育推進に関するアンケート結果から計画策定に向けた研修会を開催した。 ・研修会内容 講演:市町村食育推進計画策定について 講師:獨協医科大学公衆衛生学助教 西連地利己氏 計画策定予定市町村数・結果:策定予定市町村は1市であるが研修会終了後, 自発的に市ごとに集まり現状を含めた話し合いを持っていた。
土浦	1	平成19年8月29日(水) 土浦・竜ヶ崎で協働開催	土浦保健所会議室	市町村職員, 株式会社カスミ(スーパ), 女性農業士会, 保育所職員, 食生活改善推進員, 保健所職員	15名	食育支援ネットワーク会議	県食育推進計画の策定及び今後の課題について 食育の課題及び今後の取り組みに関する発表, 意見交換 食育支援ネットワーク連絡会議では各食育関係機関から意見交換を行った。 食育キャンペーンは大型ショッピングセンター等の店舗を活用し食生活改善推進員と連携し食育の重要性を普及した。
	2	平成19年9月10日(月)	石岡市ジャスコ	協力団体 食生活改善推進員	対象者約200名	食育キャンペーン	食育ポスター掲示やパンフレットの配布, 声かけ運動を行った。

平成19年度食育支援ネットワーク事業実績報告

保健所名	回数	実施月日	実施場所	参加者		内容	評価方法と結果概要	
つくば・常総	1	平成19年12月21日(金)	つくば保健所	保育園・幼稚園関係者, 市町村職員等	26名	食育推進計画の概要説明	永久歯科対策並びに子育て支援健康講座の中で「茨城県食育推進計画について」概要説明を行った。	アウトカム評価 市町村食育推進計画策定については, 管内2市のうち, 1市が策定中。残り1市も策定に向けて動き出した。
	2	平成20年1月8日(火)	つくば保健所	内訳: 協力団体7名・保健所3名	10名	食育キャンペーン打合せ会議	食育推進キャンペーンの趣旨説明及び事業内容についての確認, 調整を行った。	アウトプット評価 食育推進キャンペーン協力団体6団体。イベント参加人数延べ950名。茨城県食育推進計画については, キャンペーン等をおし住民に対して周知をすることができたが, まだまだごく一部にすぎない。継続した取り組みが必要である。しかし, 各食育関係団体と連携をとって事業を進めることができ, 効果的に推進が図れた。
	3	平成20年1月20日(日) 常総と協働開催	ショッピングセンター「つくばアッセ」つくば市上横場	一般住民イベント参加者数	延べ950名	食育推進キャンペーン	協力6団体と連携し, 体成分分析及び栄養相談, 精米体験, 農産物名前あてクイズ, 豆運びゲーム, 食育クイズ, 食育のはなし(腹話術・エプロンシアター), 料理講習会, 飲料酢の試飲, 食育チラシの配布等各イベントを実施した。	
筑西	1	H19.9.25(火)	筑西合同庁舎大会議室	①参集範囲: 保健医療関係者, PT A, 教育関係者, ボランティア, 食品関連事業者, 農林漁業者, 行政等	28名	市町村計画策定支援	各市の食育推進計画の策定に向けた情報収集の場として, 地域の食育の状況を把握し, 食育関連事業を円滑に推進するため, 「食育支援ネットワーク会議」を開催した。内容: ・説明: 茨城県食育推進計画の概要について ・意見交換: 各所における食育の取り組み及びあり方について	各市の食育推進計画については, 各市の諸事情により具体的な成果は得られていないが, 今後も引き続き必要に応じて助言指導を行う。食育支援ネットワーク会議については, 既に各分野でそれぞれが食育を推進しているが, 相互に活動内容を把握しあうことで, コーディネート役としての機能を果たすことができた。さらに, 今後の食育関連事業の推進にあたって, 相互の連携を生み出す場としての活用が期待できる内容であった。
	2	H19.10.28(日)	かましん下館店(スーパー筑西市)	来店者	約300名	食育推進キャンペーン	食に関心が薄い方などを含めたアプローチとして, スーパー店頭で食に関する情報発信を行った。 内容: ・食育チラシの配布説明 ・食事や健康に関するアンケート実施 ・県栄養士会による食生活診断 ・食生活改善推進員による郷土料理のパネル展示解説 ・歯科衛生士による歯科保健指導 ・保健師による健康相談 ・食中毒予防のための手洗い指導	来店者にアンケート調査を行い(268名), 回答者の約半数が「食育」等の言葉を知っており, 22%(60人)の方が言葉も意味も両方知っているとの回答を得られ, 「食育」がある程度浸透していることが分かった。また, 同キャンペーンで初めて「食育」を知ったという回答が14%(37人)あり, 食に関心が薄い人も含めたポピュレーションアプローチとしての役割も果たすことができた。

平成19年度食育支援ネットワーク事業実績報告

保健所名	回数	実施月日	実施場所	参加者		内容	評価方法と結果概要
	3	H19.12.5(水)～7(金)	NECコンピュータテクノ社員食堂(筑西市)	従業員等	約300名	<p>青壮年期を対象とした健康づくりのための食育推進</p> <p>メタボリックシンドロームの予防や食育推進にかかるポピュレーションアプローチとして、青壮年期の多い給食施設と連携して、ヘルシーメニューの提供や健康情報の提供、個別栄養相談など、健康づくりのための食育推進を行った。</p> <p>内容: 同社で独自に実施する栄養展示の機会に併せて、食育チラシの配布のほか、生活習慣病と関係の深い食生活の診断、歯周病対策としての歯科保健指導、禁煙支援などの活動を実施した。12/5 食生活診断(栄養士会)食育チラシの配布 12/6 チラシ・パンフレットの配布 歯科保健指導(歯周病予防)12/7 チラ</p>	先進的な活動を行っている企業と連携することにより、対象者に対し効率よく効果的な啓発活動を行うことができた。また、今回の事例をモデルとして、他での啓発活動に必要なスキルを得ることができた。
竜ヶ崎		平成19年10月2日	竜ヶ崎保健所	市町村健康づくり主管課長等, 食生活改善推進員協議会長, 在宅栄養士会長, 食品衛生協会会長, イトーヨーカドー, 筑波大学教授, 保健所職員	16名	<p>食育推進計画策定支援等について</p> <p>・食育推進計画策定 ・健康づくり支援店の推進 ・禁煙対策 ・運動習慣づくり 事例発表 「かっぱ体操について」 「フリフリグッパ体操について」 講演 筑波大学人間総合科学研究科 村田芳子教授</p>	食育キャンペーンは、土浦保健所と郷土史、スーパー等の店舗を活用し参加者の増加を図り住民の食育推進を支援した。なお、食育推進計画については、県計画を説明し、市町村計画策定を促した。また、健康づくり支援店の登録状況について報告し、制度の周知を図った。
古河	1	平成20年1月21日	茨城県古河保健所 大会議室	別添名簿	15名	<p>食育推進計画策定支援会議</p> <p>(1)茨城県食育推進計画について古河保健所管内食育実施状況について (2)市町村食育推進計画について (3)食育キャンペーンの開催について (4)情報交換</p>	古河保健所管内食育実施状況については参加者全員から報告を受けた。市町村食育推進計画については策定を予定している市町はなく今回の会議後も同様である。食育キャンペーンの開催については共通理解の上、可能な参加手段を検討することができた。
	2	平成20年2月17日	イトーヨーカドー古河店	古河市食生活推進員 8名 茨城県栄養士会 2名 古河市健康推進課 1名 古河保健所 1名	参加協力団体12名 来場者約500人 アンケート実施98名	<p>食育推進キャンペーン</p> <p>第2回古河市みんなの消費生活展のなかで古河市食生活改善推進協議会古河支部が中心となってキャンペーンを行った。会場で手作りのパンフレット「しっかり野菜を食べましょう！」を渡し、実際に1日分の野菜を計測してもらった。併せて食習慣に関するアンケートを実施した。</p>	食育推進計画策定の周知、野菜摂取をすすめるながらキャンペーン用配布物(ティシュペーパー等)を手渡した。アンケートについては、野菜の計測をした方に実施した。